

み
か
い

安住院便り (第10号)

平成15年1月1日発行
〒703-8236
岡山市国富3丁目1-29
住職 生駒琢一
TEL(086)272-2320 FAX(086)273-9327

「般若心経」

皆さん、お経と言えば「般若心経」が有名ですね。常の勤行や法事での御看経、お参り行つたときにも必ずお唱えします。二百七十文字程の中に凝縮された素晴らしいお経です。

「大般若経」という六百巻もある長いお経があります。安住院のお正月の初観音でもお寺さんがみんなで一緒に大きな声をあげてバラバラとお経の本をめくっています。あれは（転読）といって全ての内容を読む変わりに行う法会のやり方で、あの本をめくる風にあります。そこで、お経全体の優れた功德に触れることができます。

「大般若経」は、「西遊記」で有名な玄奘（げんじょう）三蔵法師が、中国から大変な苦労をしてインドを訪ね、持ち帰り翻訳したもの一つで重要なのです。その命を懸けた旅の様子が孫悟空達の物語になつたのです。

般若とは、もともとは、あの怖いお面のことではあります。仏様の智慧といふことは、智慧といつても、私たちが学校の勉強などでも教わるのは、一般に知識であり、智慧とはもどり深い仏様の真実の教えを分かる事なのでも

もう一度、経題の「仏説摩訶般若波羅蜜多心経」とは、仏様の教えとしては、大きな仏様の智慧をもつて彼岸へ渡るための中です。私たちのこちらの世界から仏の世界へ行くことで、つまり悟りを開くということなのです。

内容は、「空即是色」などは有名ですが、（空）なんて、とても一言では表現できないことで、一人一人さまざまの理解の仕方が異なるはずです。

しかし、般若心経は難しいからと投げ出してはいけません。心経は読むこと、或いは写経の心を持つことが可能なのです。



初観音法要のご案内

来る一月十七日（金曜）

午後一時より

本尊千手観音御宝前に於いて、大般若祈祷並びに護摩供を厳修致します。

念頭にお配りする「とし書き」にご記入の上、ご参詣下さい。

また、特別祈祷も申し受けますので、前日までにご連絡下さい。

入唐千二百年

今からちょうど千二百年前、私たちの真言宗の宗祖弘法大師空海和尚が、全ての面で文明の最先端であった唐（今の中国）に渡られました。とてもない苦労の末、當時最も優れていた仏教、すなわち真言密教を得ようされたのです。それから千二百年、今の真言宗はこの時から始まつたのです。様々な行事も予定されていきますので、皆様も期待して下さい

県博にて聖観音等を展示

岡山県立博物館（後楽園）

にて特別展を開催

「備前四十八ヶ寺ー近世備前の靈場と報恩大師信仰ー」

平成十五年一月三十一日（木）

三月二日まで

安住院より左記の什物が出展されます。

- ・聖観音菩薩立像（県重文）
- ・本堂棟札（小早川秀秋公）
- ・禁制札（宇喜多秀家公）
- ・文明十一年勅進
- ・増吽僧正書状

一般には、当院でもお見せ出来ないものですので、是非後楽園まで行つてご覧下さい。

西国三十三ヶ所靈場巡り

昨年の十月十七日～十八日、

檀信徒の皆様と、西国三十三

ヶ所靈場の巡拝を始めました。観音様に縁のある靈場で、日本で最初に整備され古い歴史のある札所巡りです。

第一回目は、那智の滝で有名な青岸渡寺、紀三井寺、粉川寺の三ヶ寺をお参りしました。

とにかくバスで丸一日の行程、大阪からは山の中を走りに走つて本堂の閉まるギリギリに那智まで辿り着きました。次の日は太平洋の海岸線をひた走り団参を終わりました。

また、西国の各お寺は、伽藍の立派な所が多く、石段や境内を結構歩きますが、素晴らしい風景も多く、お寺参りをしている雰囲気に浸れるのではと思います。

まだ先は長く、近畿一円岐阜までの大変な道中ですが、頑張つてお参りでき、数多くようになります。

次の予定は、四月十六日（水）・十七日（木）ですでの、皆様宜しくお願ひ致します。

